

旧広海倉庫

広海倉庫は 1889 年に建てられた木造骨組みの石造り倉庫です。この倉庫は建物の前後に荷物を積み込むための大きな石造りアーチ型出入口があるのが特徴です。広海家は石川県の加賀出身の商船主で、1889 年に小樽で倉庫業を開始しました。広海家は海産物を扱い、19 世紀末に右近家とともに海上保険サービスを開始しました。広海海運会社は大阪に本社を置き、木造北前船と英国製蒸気船を運航していました。

小樽運河の北端にある他の倉庫と同様、広海倉庫は北浜地区の埋立地に建てられました。建設当時は倉庫の目の前に港があり、また手宮駅も数百メートルの距離にあって陸海問わず荷物の輸送・保管に最適な立地でした。小樽運河の建設が始まった 1914 年頃には倉庫の前のさらに多くの土地が埋め立てられました。